

まなぶひと

TAKE FREE

2019.7 月号
Vol.57

学ぶひととき、
学ぶひとたち
を応援します。

— 交わる 「哲学の道」 —



東北大学関連イベント・インフォメーション

まなぶひと

7 2019
月号
Vol. 057

■ごあいさつ

—東北大学 まなび情報誌「まなぶひと」—

大学は学生や研究者のためのもの、と思っははいませんか？実はそうでもありません。東北大学は、さまざまな分野での研究成果や保有する資産・空間を、地域のみなさまと広く共有したいと考えています。

そこで生まれたのが、この「まなぶひと」。

東北大学が実施しているさまざまな公開講座、講演会、コンサート、企画展や公開施設など、地域のみなさまに広くご参加、ご来場いただきたいイベント情報等をお届けいたします。

「まなび」を愛するみなさまの「まなぶひととき」にお役立ていただければ、幸いです。

■もくじ

1. ごあいさつ	2
2. 社会に生きる東北大学	3
3. 特集 史料館企画展「西田幾多郎と東北大学ゆかりの人々」	4
4. イベントカレンダー	6
5. イベント詳細情報	10
6. 一般公開施設一覧	18
7. キャンパスマップ	19

社会に生きる東北大学

暮らしに息づく、身近な東北大学を目指して。

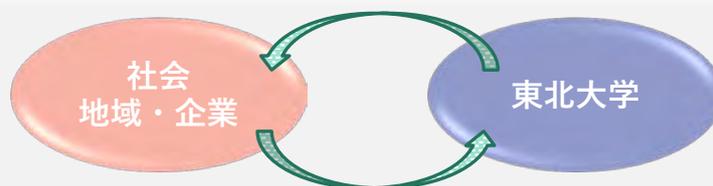
大学の使命はまず、教育・研究を通じて社会に有意な人材を輩出し、最新の研究成果を生み出していくことですが、もう一つ、大切な使命があります。それは地域社会との連携です。

東北大学は日本を代表する大学であるべきと同時に、東北、宮城、そして仙台に深く根付いた、地域のみなさまに身近な大学でなければなりません。

実践的なフィールドワーク、社会のニーズに応じたテーマの研究、また様々な文化事業などの社会連携活動を積極的に推進し、地域のみなさまに寄り添い、ご支援をいただけるよう努めていきたいと考えています。

みなさまの暮らしの中でもともに歩み続ける東北大学に、どうぞご期待ください。

大学の教育・研究成果の還元・共有



大学への共感・ご支援

東北大学における主な社会連携事業

公開講座・講演会



- 市民のためのサイエンス講座
- 東北大学レクチャーシリーズ
- サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

地域連携



- 中高校生職場体験、学校訪問
- 仙台七夕花火祭
- アカデミックツーリズム

文化事業



- 川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム
- かたひらロビーミニコンサート
- 歴史的資産の保存・公開 等

コンベンションの推進



- コンベンション誘致に関する窓口の設置
- コンベンション開催、学校等主催行事への供与
- 百周年記念会館川内萩ホールの運営

出前授業



- 減災教育「結」プロジェクト
- 楽しい理科の話
- サイエンスデイ

施設公開



- 東北大学史料館
- 総合学術博物館・理学部自然史標本館
- 東北大学植物園
- 東北大学附属図書館

東北大学をもっと身近に。もっとおトクに。萩友会。

萩友会はどこでもご入会いただけます。大学を楽しむプレミアムなパスポート、ゲットしませんか？

【会費】プレミアム会員：1,000円/年 永年会員：50,000円

【特典例】総合学術博物館・植物園入場無料、川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム割引優待、講演会のご案内など。目印⇒⇒



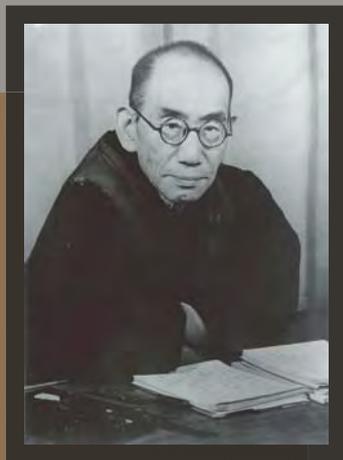
しゅうゆうかい

検索

東北大学萩友会

TEL:022-217-5059

— 交わる 「哲学の道」 —



西田幾多郎。

日本を代表する哲学者である彼の名に耳馴染みがなくとも、彼が思索に耽った道が京都の「哲学の道」とであると聞けば、その偉大さに思い至ることは容易いだろう。

「日本最初の哲学書」と呼ばれる『善の研究』を発表し、西洋哲学とは異なる視点での「西田哲学」と呼ばれる世界に名高い独自の思索体系を築いた彼の元には、全国から幾人もの俊才が集まり「京都学派」と呼ばれる一大学派を作り上げるに至った。

西田といえば京都帝国大学の印象が強いが、実は西田の恩師、弟子、そして姪など、西田ゆかりの人物がかつての東北大学にも多くいたことはご存知だろうか。

20世紀の初頭、世界で科学哲学が発展し、日本の近代教育が育っていった時代、近代日本における哲学の巨人である西田と彼を取り巻いた人々が、開学間もない東北帝国大学とどのような関わりを持っていたのか、その一端を紹介することとしたい。

○西田哲学とは？

西田が生み出し、作り上げていった西田哲学、京都学派とはどのような学問体系なのか？その詳細はここでは紹介し負えないが、西田は、自身の参禅の経験と近代哲学とを融合させ、主観と客観を対立させて捉えてきた西洋哲学では解ききれない問いへの解を得ようと、思索を深めていったという。

当時の日本は、西洋からさまざまな科学技術や思想が輸入され、それを基に学問を深めていくのが主流であった。しかし西田は、ただ西洋から受け入れるだけではない、純粹で独創性のある思索・研究を続け、それに共鳴する形で、日本独自の学問研究を希求する「京都学派」が発展していったのである。

○西田の後継者と「科学概論」

西田の後継者とされる田辺元は、西田とともに京都学派を発展させていった中心人物の一人であるが、田辺は、東北帝国大学においても講師として教鞭をとっていた。

田辺が受け持ったのは「科学概論」という授業である。哲学者である田辺が「科学概論」を受け持つことは一見不思議に感じるかもしれないが、当時20世紀の初頭は、量子概念の発見や相対性理論など、物理学、数学の基礎を揺るがす発見が相次ぎ、それはすなわち哲学的基礎を揺るがす一大事件でもあった。そんな時代、数理哲学を専門とした田辺の知見は当時の哲学界を風靡し、その田辺を初代講師に据えた東北帝国大学の「科学概論」の授業は非常に先進的だったといえるだろう。



京都市左京区の若王子から銀閣寺まで琵琶湖疏水分線沿いに巡らされた「哲学の道」。
(提供：石川県西田幾多郎記念哲学館)



1922年にドイツのハルレより送られた田辺から西田への絵葉書。石川県西田幾多郎記念哲学館蔵。

○西田の姪と東北大学

さて、西田の姪（妹の娘）、高橋ふみも東北帝国大学で学んだ女子学生の一人である。ふみは1926年に東北帝国大学に入学し、法文学部哲学科で哲学を学んだ。卒業後は西田の論文のドイツ語翻訳も手掛けている。伯父を慕い尊敬し、同じ哲学の道を志したふみであったが、本来であれば、西田が教授を務めていた京都で学問を修めたかったに違いない。

しかし当時、女子学生を受け入れていた帝国大学は東北帝国大学などごく限られたものだった。東北帝国大学は1913年に日本で初めて女子の入学を認めた帝国大学であるが、その時の総長北条時敬は西田の少年期からの恩師であるから、これも西田と東北大学の浅からぬ縁を感じるころである。実際、京都大学が女子学生の入学を受け入れたのは戦後、

1946年。今に続く門戸開放の理念のもと、いち早く女子の入学を認めた東北帝国大学で、ふみは自身の高い志を貫くことができたのである。



東北大学史料館に保管されている高橋ふみの学生原簿。「性質」は「淡泊」で、「好奇心に富み勤勉」とある。

○交わる「哲学の道」

西田自身も東北帝国大学を訪れ、講演を行っている。1935年9月。当時法文学部の教授で後に第9代東北大学総長となる高橋里美は、講演時の西田の様子を振り返り「形而上学そのものがそこに立っているよ

西田の講演を知らせる学内文書。演題は「歴史的事実の世界」。9月25日から3日間開催された。東北大学史料館蔵。



うだ」と表現した。講演は聴講し

た人々に刺激を与え、新たな論文の執筆や活発な議論につながったという。自身の「哲学の道」を見つめ、極めていった西田幾多郎。その道に先導された若者、横切った若者、あるいは遠くから見つめなおした若者。たくさんの人々が彼の道をそれぞれの形で辿ったことだろう。様々な思いが交わる「哲学の道」は、この東北大学にも引き継がれている。

○仙台版「哲学の道」？～三太郎の小径～

西田と同時代の哲学者に、東北帝国大学法文学部美学講座の教授を務めた、阿部次郎がいる。彼が記した『三太郎の日記』は、西田の『善の研究』とともに当時のエリート学生の必読書であった。東北大学の川内キャンパスには、散歩好きだった阿部次郎にちなみ「三太郎の小径」と名付けられた小径が今も残されている。緑に囲まれた小径には榎や銀杏の大木も聳え、千貫沢の沢音や野鳥の声を聴きながら思索に耽るのも楽しい。



三太郎の小径には、川内萩ホルの北側などから。大手門跡を抜けて仙台城三の丸跡には阿部次郎の碑もある。

東北大学史料館 企画展

西田幾多郎生誕の地・ゆかりの地交流事業

「西田幾多郎と東北大学ゆかりの人々」

期間：2019/7/1（月）～7/31（水） 期間中無休、入場料：無料
開館時間：10:00-17:00（土日祝日は16:30まで、7/13は17:00まで）

※申込・問合せ：石川県西田幾太郎記念哲学館
TEL：076-283-6600



講演会

2019/7/13（土）

片平さくらホール
13:00-15:30
定員100名 無料
要申込（先着順）

キャンパスツアー

同日 10:00-11:30
定員20名 無料
要申込（先着順）

2019.6.15 ~ 2019.8 東北大学関連 イベントカレンダー

区分	開催日	イベント名	会場	時間	問合わせ先・その他
MOOC 【受付中】	講座ごと	1 東北大学 MOOC	オンライン (一部対面学習あり)	随時	東北大学オープンオンライン 教育開発推進センター 無料 
企画展 【申込不要】 	5/17(金)- 6/26(水)	2 史料館 ミニ企画展「大正・昭和のはじまりと東北帝国大学」	東北大学史料館 2階展示室 ■片平キャンパス	10:00-17:00	東北大学史料館 TEL:022-217-5040 無料 
公開講座 【募集中】 	6/16(日)	3 信頼ギャザリング@仙台	エクステンション 教育研究棟6階講義室A ■片平キャンパス	13:00-18:00	経済学研究科・西出研究室 yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp 無料/対象:学生・一般 定員:90名/web申込 
公開講座 【募集中】 	6/21(金)	4 理学部キャンパスツアー ぶらりらく「ホテルの光を化学する!？」	理学研究科合同C棟 2階多目的室 ■青葉山キャンパス	18:30-19:30	理学研究科・理学部 広報・アウトリーチ支援室 TEL:022-795-6708 無料/対象:一般(中学生 以下保護者同伴) 定員:先着50名/web申込 
フィールドワーク 【募集中】 	6/23(日)	5 青葉山・八木山フットパス令和元年度第一回フィールドワーク「青葉山丘陵の古層を探る」	集合:たまきさんサロン (環境科学研究科本館1階) ■青葉山キャンパス	[レクチャー] 10:30-11:30 [フィールドワーク] 11:30-15:00	青葉山・八木山フットパスの会事務局 TEL:070-5091-4896 参加費:500円/電話, メール申込/締切:6/17 
コンサート 【発売中】  	6/23(日)	6 川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム 2019-2020 vol.2 「中川晃教コンサート 2019」	百周年記念会館 川内萩ホール ■川内キャンパス	14:00 開演 13:30 開場	河北新報社事業部 TEL:022-211-1332 (平日 10:00-17:00) S席:¥5,500,A席¥4,500, 学生席(大学生以下)¥3,000 萩友会プレミアム会員/S席:¥4,500 ※未就学児童入場不可 ※学生席は河北チケットセンターのみ扱い。 ※萩友会プレミアム会員割引あり ※チケ得対象 
公開講座 【募集中】 	6/26(水)	7 たまきさんサロン サロン講座 「生産者と消費者が一緒に育む、持続可能な食環境を目指して」	たまきさんサロン (環境科学研究科本館1階) ■青葉山キャンパス	18:30-20:00	せんだい環境学習館たまきさんサロン TEL:022-214-1233 無料/42名(小学生以下保護者同伴)※抽選 メール,はがき,FAX申込 締切:6/19 

区分	開催日	イベント名	会場	時間	問い合わせ先・その他
公開講座 【申込不要】 	6/28(金)	8 第165回サイエンスカフェ 「地球の中はどんな世界？ & 鉱物のフシギ」	せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進係 TEL:022-217-5132  無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
公開講座 【募集中】 	6/29(土)	9 The 3rd FRIS-TFC Collaboration Event 「これ がブラックホールだ！ ～第 一線の研究者が語る真実～」	■片平キャンパス 知の館 3階講義室	13:30-15:00 13:00 開場	学際科学フロンティア研究所事務室 (橋本) TEL:022-795-5755 無料/対象:高校生以上 (小・中学生保護者同伴)  先着100名/web申込
公開講座 【募集中】 	6/29(土)	10 たまきさんサロン サロン講座 「お花を植える土を作ろう！ ～廃泥土のリサイクル～」	■青葉山キャンパス 集合: たまきさんサロン (環境科学研究科本館1階)	13:30-15:00	せんだい環境学習館 たまきさんサロン TEL:022-214-1233 無料/小学4年生以上の 子どもと保護者15組※抽選 メール,はがき,FAX申込 締切:6/18 
企画展 【申込不要】 	7/1(月)- 7/31(水)	11 史料館 特別展「西田 幾多郎と東北大学ゆかりの 人々」	■片平キャンパス 東北大学史料館 2階展示室	10:00-17:00 [土日祝]16:30まで [7/13]17:00まで	東北大学史料館 TEL:022-217-5040 無料 
公開講座 【募集中】 	7/3(水), 7/10(水), 7/17(水), 7/24(水)	12 みやぎ県民大学「グリ ーンテクノロジーのための 材料とデバイス」	■片平キャンパス 多元物質科学研究所 南総合研究棟 2 1階大会議室	15:00-17:00	多元物質科学研究所 総務係 TEL:022-217-5204 無料/対象:18歳以上 の宮城県民の方/先着 50名/住所,氏名,職業, 連絡先,性別,年齢を明記 の上はがき,FAX申込  締切:6/26
公開講座 【申込不要】 	7/11(木)	13 グローバル社会イノベ ーター・セミナー【国際機関編】 「国際機関における組織管 理と協働」	■川内キャンパス 文科系総合講義棟 経済学部第一講義室	8:50-10:20	経済学研究科・西出研究室 yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp 無料/対象:学生・一般  定員:100名
公開講座 【申込不要】 	7/11(木)	14 グローバル社会イノベ ーター・セミナー【キャリア編】 「国際社会におけるキャリ ア構築」	■川内キャンパス 文科系総合講義棟 経済学部第一講義室	10:30-12:00	経済学研究科・西出研究室 yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp 無料/対象:学生・一般  定員:100名
公開講座 【申込不要】 	7/12(金)	15 第166回サイエンスカフェ 「毒なのに体に必要なモノ って何？～体のことを知っ て薬を作る～」	せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進係 TEL:022-217-5132  無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象





区分	開催日	イベント名	会場	時間	問い合わせ先・その他
講演会ほか 【募集中】 	7/13(土)	16 史料館 特別展「西田幾多郎と東北大学ゆかりの人々」講演会およびキャンパスツアー	片平さくらホール ■片平キャンパス	[講演会] 13:00-15:30 12:30 開場 [キャンパスツアー] 10:00-11:30	石川県西田幾多郎記念哲学館 TEL:076-283-6600 無料/定員:(講演会)先着 100名, (キャンパスツアー)先着 20名 TEL,FAX,メール申込
公開講座 【申込不要】 	7/16(火)	17 第 11 回東北大学病院 肝臓病教室	東北大学病院外来 1 階 がんセンター がん相談室 ■星陵キャンパス	15:00-16:00	肝疾患相談室 TEL:022-717-7031 無料
公開講座 【申込不要】 	7/20(土)	18 第 63 回 IRIDeS 金曜フォーラム 「平成 30 年度共同研究成果報告会およびプロジェクトエリア・ユニット報告会」	災害科学国際研究所 1 階 会議・セミナー室 ■青葉山キャンパス	9:00-17:00	災害科学国際研究所 広報室 TEL:022-752-2049 無料
公開講座 【募集中】 萩友会 優待特典	7/20(土), 8/17(土), 9/14(土), 10/19(土), 11/16(土)	19 2019 年度東北大学 植物園市民公開講座	植物園本館講義室 ■川内キャンパス	13:30-15:00	東北大学植物園公開講座係 TEL:022-795-6760 無料(別途入園料 230 円) 各回先着 80 名/往復はがき メール,FAX 申込締切:6/24 ■萩友会プレミアム会員入園無料
公開講座 【募集中】 	7/30(火), 7/31(水)	20 加速キッチン ～サイクロ流地球にない原子～	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター ■青葉山キャンパス	9:00-18:30	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター加速キッチン係 TEL:022-795-7808 無料/対象:中学生,高校生 高専生/定員:8 名 web 申込/締切:6/21
公開講座 【募集中】 	8/1(木)- 8/2(金)	21 第 89 回金属材料研究所 夏期講習会	金属材料研究所・材料科学高等研究所 ■片平キャンパス	[8/1]10:30-18:10 [8/2]10:00-17:00	金属材料研究所総務課総務係 TEL:022-215-2181 受講料:(一般)12,000 円, (学生)4,000 円/定員:60 名 web 申込/締切:7/24
企画展 【公開中】 	常設	22 「かわうち今昔ものごたり」	川内萩ホール ■川内キャンパス	火曜休館	川内萩ホール TEL:022-795-3391 無料

※当該記事事項は、6月10日現在の情報です。記載内容等に変更がある場合もありますので、詳細については、別添のチラシを参照するか、問い合わせ先にご確認ください。
 ※萩友会のプレミアム会員は、割引価格でチケットを購入、また東北大学の一部施設への入館・入園料が無料になります。萩友会への加入方法や割引特典等の詳細は、「萩友会」で検索していただくか、東北大学萩友会 (022-217-5059) までお問い合わせください。
 ※博物館・植物園の窓口では萩友会会員証をご提示ください。
 ※開催日が迫っているもので申し込みが必要なものは、すでに募集を締め切っている場合がありますので、必ず問い合わせ先にご確認ください。また、募集期間が過ぎているものでも、定員に余裕がある場合は、参加申し込みを受け付ける場合もありますので、問い合わせ先にご確認ください。



萩友会プレミアム会員になるとお得がいっぱい！



サイエンス獲得ポイントに応じて東北大学オリジナルグッズをプレゼント！

※2019年度後期プログラム最終日をもって廃止します。新たなスタンプカードの配布は終了しました。



鑑賞券のご提示でお得なサービス！



東北大学関連 イベント詳細情報

2019.6.15～

各イベントのチラシをほぼ開催日順に掲載しています。
掲載事項（開催日時、イベント名、会場など）は
変更になる場合があります。
詳細は各お問い合わせ先にご確認ください。

2019 オンラインで学ぶ 東北大学 MOOC

Massive Open Online Courses

東北大学の講義をオンラインで受講してみませんか？

2019 受講登録受付中!

どなたでも 受講無料!

「銀河考古学入門」

～銀河の形成と進化を辿る～

開講期間: 7月17日◎～9月3日◎

「銀河考古学」とは、銀河をその母体である恒星に分離し、銀河の恒星の性質に基づいて銀河の形成進化を辿る天文学の一分野です。銀河系に代表される銀河は、どのようにして生まれ、どのように進化して今の形になったのでしょうか。銀河にある化石のような古い星ほしから銀河の歴史を解明してみよう。

講師: 理学研究科 千葉稔司教授

新規講座
東北大学サイエンスシリーズ 第3弾

銀河考古学入門

銀河の形成と進化を辿る

「解明: オーロラの謎」

開講期間: 6月19日◎～8月6日◎

地球や木星、土星で見られるオーロラは、どのようにして発光しているのでしょうか。最新の人工衛星と地上観測の結果を紹介しながら、オーロラの原因である高層大気の変動と結び、わかりやすく解説します。

対面学習コース
7月20日◎ 13:30～ 東北大学青葉山キャンパス
参加費 3000円 定員 35名 (事前申込・先着順)

講師: 理学研究科 小原隆博教授

解明: オーロラの謎

「memento mori-死を想え-」

開講期間: 8月28日◎～10月29日◎

メメント・モリというラテン語は「死を想え」、つまり現在は幸せに生きていてもいつかは死を迎えることを忘れるな、という警句です。人は自己の死を経験することはできません。そのため「死の恐怖」の正解を求めます。人類の歴史の死を想った文化を調査して見ます。本講座では、宗教民俗学的観点から「死」について考えます。

対面学習コース
10月5日◎ 14:00～ 東北大学川内北キャンパス
参加費 3000円 定員 40名 (事前申込・先着順)

講師: 教養教育院 鈴木岩弓総長特命教授 (東北大学名誉教授)

memento mori

死を想え

新規講座 絶賛制作中!

東北大学サイエンスシリーズ 第4弾
「進化発生学入門-恐竜が鳥に進化した仕組み-」
開講期間: 2020年1月～予定 講師: 生命科学研究科 田村宏治教授

2019 LINEUP

東北大学 MOOC ラインナップ詳細はこちら >>> <https://mooc.tohoku.ac.jp/>

東北大学サイエンスシリーズ

東北大学で学ぶ高度教養シリーズ

銀河考古学入門

～銀河の形成と進化を辿る～

開講期間: 7月17日◎～9月3日◎

講師: 理学研究科 千葉稔司教授 ※2020年1月再開講予定

家族と民法

「銀河考古学入門」

～銀河の形成と進化を辿る～

開講期間: 7月17日◎～9月3日◎

講師: 理学研究科 千葉稔司教授 ※2020年1月再開講予定

「家族と民法」

開講期間: 10月23日◎～12月24日◎

講師: 法学研究科 水野紀子教授

防災実践学的

東日本大震災の教訓を活かした防災学へのアプローチ

男と女の文化史

「東日本大震災の教訓を活かした防災学へのアプローチ-災害科学の役割」

開講期間: 9月25日◎～11月26日◎

講師: 今村文彦 (東北大学災害科学国際研究所教授) グループ

「男と女の文化史」

2020年
開講期間: 1月15日◎～3月17日◎

講師: 文学研究科 高橋章則教授他

解明: オーロラの謎

memento mori

死を想え

「解明: オーロラの謎」

開講期間: 6月19日◎～8月6日◎

対面学習コース: 7月20日◎ 13:30～ 10月5日◎ 14:00～
東北大学青葉山キャンパス 東北大学川内北キャンパス

講師: 理学研究科 小原隆博教授

「memento mori-死を想え-」

開講期間: 8月28日◎～10月29日◎

対面学習コース: 7月20日◎ 13:30～ 10月5日◎ 14:00～
東北大学川内北キャンパス 東北大学青葉山キャンパス

講師: 教養教育院 鈴木岩弓総長特命教授 (東北大学名誉教授)

東北大学サイエンスシリーズ 第4弾
新規講座制作中!! 「進化発生学入門-恐竜が鳥に進化した仕組み-」
開講期間: 2020年1月～予定 講師: 生命科学研究科 田村宏治教授

■受講にはインターネット接続可能な端末 (パソコン・スマートフォン等) が必要です。
■JMOC 公認プラットフォーム gacco への登録 (無料) が必要です。
■修了要件を満たした方には東北大学オリジナルの修了証を発行します。

Center for the Advancement of Open Online Education
東北大学オープンオンライン教育開発推進センター
<https://mooc.tohoku.ac.jp/> E-mail: secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp

東北大学史料館 ミニ企画展

期間 令和元年5月17日(金) - 6月26日(水)
場所 東北大学史料館 2階展示室 入場無料

大正・昭和のはじまりと東北帝国大学

今年「令和」がはじまります。東北帝国大学は、明治40(1907)年創立されました。「大正」がはじまる時、「昭和」がはじまる時、大学は、大学関係者は、何を行っていたのでしょうか。大学の記録や儀礼に用いられた装束等を展示・紹介します。

7月に史料館企画展示「西田幾多郎と東北大学ゆかりの人々」を開催します。西田の師でもあった北條時敏(1858-1929)は大正天皇大礼時の総長でした。あわせて御覧下さい。また、昭和天皇大礼の際に本多光太郎(1870-1954)・当時金属材料研究所長・後に東北帝国大学総長)は行事に参加のかたわら研究活動も行っていました。個人の多彩なあり方も注目点です。

※写真は北條総長御大典上表文 大正4年11月・届出書帳 自大正15年至昭和4年・装束の一部資料保護のため、期間中原資料と写真の入れ替えを行います。

東北大学史料館 <http://www2.archives.tohoku.ac.jp>
仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学片平キャンパス内 電話 022-217-5040
開館日 月曜日-金曜日(祝日を除く) 開館時間 10:00-17:00

川内第2食堂 普通カレー

～人はそれを貧食カレーと呼んだ!～

1967年の開店以来、東北大学生の胃袋と懐を支え、惜しまれつつも2008年に四十余年の歴史に幕を下ろした川内第2食堂(教養部第2食堂)。「貧食」の愛称で親しまれた食堂の定番メニュー「普通カレー」を当時を知る卒業生と元店長監修のもと復刻しました。

●商品概要
オリジナルレトルトカレー
「川内第2食堂普通カレー」
販売元: 東北大学生協
発売: 2018年9月20日
内容量: 200グラム
価格: 1箱378円(税込)

【製品に関するお問い合わせ】
東北大学生協さくらショップ
電話: 022-264-0706
E-mail: hsb@tohoku.u-coop.or.jp
(*を@に置き換えてください)

★通信販売でお求めいただけます
<https://www.tohoku.u-coop.or.jp/shopping/goods/>

売上7%が東北大学基金に寄附されます

見つけてみよう、今の社会を。

創造しよう、これからの社会を。

今、未来を開拓するのは、僕たちだ。

(公財)信頼資本財団 × 東北大学

「信頼ギャザリング@仙台」 - 信頼資本を広げるために -

「社会関係資本」と訳される「ソーシャル・キャピタル」を重視していくことが豊かな社会につながっていくと言われて久しいのですが、日本では、その視点が定着することなく経済資本優先のまま今日に至りました。しかし、所有や自己責任や格差が人々を苦しめ、数多くの社会問題が噴出する中、ソーシャル・キャピタルの視点無くして解決に導くことは難しいとの認識が急速に広がり始めています。今回は、共催の東北大学においてソーシャル・キャピタル研究を続けてこられた西出優子教授から、ようやく社会認知が高まってきた「ソーシャル・キャピタル」について学びます。

【開催日】2019年6月16日(日) 13:00-18:00 ※受付 12:45-13:00
【会場】東北大学 片平キャンパス Cエリア エクステンション教育研究棟 (C07) 6階講義室 A
【料金】無料 ※終了後、懇親会を開催予定(自由参加、要予約/会費 3500円程度)
【詳細・お申し込み】QRコードからイベントページにお進みいただき「参加申込フォーム」にてお申し込みください。

信頼資本財団とは...
2009年1月から「社会関係資本」を「信頼資本」と名付け、その資本がより多く活用される社会を目指し、主に社会事業に対する無利子無担保の融資事業、助成事業、社会事業家や行政職員に対する社会事業塾の開催を軸に社会事業の支援活動を行っています。
また、社会事業の元手(資本)となる、信頼し合える人間関係や知恵のような無形の資産の創出や蓄積、また、それらを用いて未来を目指す仲間同士で共有・交換し合う仕組みや場を創っています。



主催：公益財団法人信頼資本財団 共催：東北大学 (経済学研究科西出研究室)

(主催団体情報) 京都府京都市上京区室町通丸太町上大門町 253 番地
TEL:075-275-1330/FAX:075-275-1340/Email:info@shinrai.or.jp

参加無料
要参加申込

登壇者

くまの えいすけ
熊野 英介



当財団代表理事/当財団設立者
アパレルディングス株式会社
代表取締役
一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク副代表理事
「持続可能な社会の実現」を掲げ、他社に先駆けて再資源化事業を開始。その後、ソリューション事業や地域支援事業を手がけ、積極的投資を行い、未来の子供たちの輝きを守ることをミッションに掲げ、豊かな関係性が動力となる新たな社会の創出に向けて邁進中。
著書：『思考するカンパニー』(幻冬舎)、『自然産業の世紀』[アミタ持続可能経済研究所共著] (創森社)

にしで ゆうこ
西出 優子 氏



東北大学大学院経済学研究科教授
沖繩県出身。仙台市在住。2007年より東北大学大学院経済学研究科専攻教授。2017年より現職。大学院留学中に、ソーシャル・キャピタルを世に広めたロバート・パットナム教授の講演会に参加。大阪大学大学院在学中より、ソーシャル・キャピタルとNPO・市民社会に関する教育研究を行う。
主な著書に、『Social Capital and Civil Society in Japan』(東大出版会)、『はじめのNPO論』(共著、有斐閣)、『ソーシャル・キャピタルと市民社会・政治：準備：信頼を高めるがバリエーションの探求』(共著、ミネルヴァ書房、近刊)等。

たかはし ようこ
高橋 陽子 氏



当財団評議員
公益社団法人日本フィランソロピ協会理事
同協会代表理事
東北大学文学部国際関係学専攻
1968年上野大学カウセン研究所専門カウンセラー養成課程修了
専門カウンセラー認定取得。関東学院大学付属中学校・高等学校からカウセンカウンセラーとして生徒・教員・保護者のカウンセリングに専事
1991年公益社団法人日本フィランソロピ協会に入会。事務局副長・常務理事を経て2005年より理事
民主主義の確立普及を使命とし、一人ひとりが社会のかけがえのない一員として社会参加することで多様性を生み出し、地域社会との信頼関係の創出を目指すことと定めています。
フィランソロピとは「信頼・情愛を指すとし、現在は「社会課題解決のために社会貢献をする」と訳されています。
著書：『フィランソロピ入門』(幻冬舎)、『60歳からのいきいきボランティア入門』(日知出版)、『社会が救うべきこと』(学芸堂)など

つちや さだお
土谷 貞雄 氏



当財団シニアフェロー
株式会社貞雄 代表
建築家/暮らし研究家
都市生活研究所を主催
1960年東京生まれ。2007年に無印良品の家の取締役を経てシニアフェローとして活動。その後も暮らしの良品研究所など多数の企業の研究所や商品企画室にて研究や商品開発を支援。現代の暮らしについてフィールドワークやアンケート調査、商品開発や執筆活動などを行っている。
2001年より企業と建築家および研究者による未来の暮らしの展覧会HOUSE VISIONをアジア7カ国で企画開催。2018年の第三回HOUSE VISION北京の終了を機に中国深圳にベースを移し、中国全土の暮らし調査を本格的に開始している

やべ ひろあき
矢部 寛明 氏



当財団フェロー
認定NPO法人塵上げ 理事長
東北芸術工科大学 講師
「一服の煙」で、人生を決めた。
1983年生まれ。早稲田大学文学部哲学専攻。ピリヤードン団体の実務を持つ。23歳で早稲田大学に進学。大学時代に行った「ママチャリ日本編の旅」で、企業家志望の父とある程度一晩お世話をした。大学四年時に発生した東日本大震災で被災地を視察したことをきっかけ、迷わずボランティアとして活動に駆けつける。内定を辞退してNPO法人塵上げを立ち上げ、近々6000人以上のボランティアを輩出する。
「本質的な問題は人材育成にある」という考えの下、現在は高校生への人材育成事業を中心に様々な活動を行う。2016年、塵上げはイノベーション社「Upgrade Your Worldプログラム」でグローバル非営利パートナーとして選ばれた。同年、認定NPO法人となる。2018年4月より東北芸術工科大学NPOコミュニケーション学専攻講師。

おたみ みちこ
太田 倫子 氏



公益社団法人こどもみらい研究所
代表理事
宮城県石巻市に生まれ。東京外国語大学アラビア語学専攻卒業後、三和銀行、森ビル勤務を経て、2011年12月、東日本大震災の経験から子どもたちのつらい「つたえ、つたえ」の力を育むことを目的に、一般社団法人キッズ・メディア・ステーション(現・公益社団法人こどもみらい研究所)を設立。2012年3月11日、石巻日ごとを新聞を創刊。デスクとして新聞の発行を継続中。

ジェレミー セプテンバー
Jeremy September 氏



東北大学大学院経済学研究科
博士課程後期2年
南アフリカ出身。仙台市在住。2015年東北大学大学院経済学研究科博士課程前期入学。2018年同博士課程後期進学。
現職専攻員による「ソーシャル・キャピタル」の著作を読み、ソーシャル・キャピタルや社会的インパクトの観点から、日本の地域連携に関する修士論文を執筆。現在は、持続可能性の観点から全国的な地域発展に対するヒアリング・アンケート調査を実施。
修士論文題目は、「Japanese Local Currencies: Key Factors for Sustainable Management」

はやし あつし
林 篤志 氏



当財団フェロー
一般社団法人Next Commons Lab 代表
1985年生まれ。ホスト資本主義社会を異化するための社会OS「Next Commons Lab」をつくる。
2016年、一般社団法人Next Commons Labを設立。自治体・企業・起業家など多様なセクターと協業しながら、新たな社会システム構築を目指す。「日本財団特別ソーシャルイノベーター」に選出(2016)。「Forbes Japan ロカール・イノベーター・アワード」地方を変えるキーマン55人」に選出(2017)。

ふりがく
ホタルの光を化学する!?!
6/21 Fri. 18:30-19:30
理学研究科合同C棟 2階 多目的室 (N204)
講師 西澤 精一
理学研究科化学専攻 教授
対象：一般
参加費無料 / 先着 50名 (要事前申込み)
お問合せ 東北大学理学研究科広報・アウトリーチ支援室
TEL: 022-795-6708 E-mail: sci-koho@mail.scit.hokue.ac.jp

ふりがく
ホタルの光を化学する!?!
2019.6.21 Fri. 18:30-19:30 (開場 18:00)
理学研究科合同C棟2階 多目的室 (N204)
講師 西澤 精一 (にしざわ せいいち)
理学研究科化学専攻 教授
博士 (理学)。2013年より現職。
研究分野は分析化学。
対象 一般
*中学生以下は保護者同伴
募集定員 先着 50名 (事前のお申し込みが必要です)
持ちもの 筆記用具
お申込み
ふりがくのウェブサイトからお申込みください。
http://www.scit.hokue.ac.jp/campustour/
*定員に達してからのキャンセル待ち受付は行っておりませんので、お早めのお申込みをお勧めいたします。
アクセス
東北大学理学研究科合同C棟
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
*セインイレインのある階が2階です
地下鉄東西線仙台駅より
「八木山動物公園行き」にて9分
「青葉山駅」下車、北1出口を出て徒歩3分。
*できるだけ公共交通機関でお越しください。
やむを得ずお車でのご来校の方は、理学研究科事務棟1階警務室まで、一泊一泊手続きを行ってください。
お問合せ 東北大学理学研究科広報・アウトリーチ支援室 TEL: 022-795-6708 E-mail: sci-koho@mail.scit.hokue.ac.jp



青葉山・八木山フットパス 令和元年度 第一回フィールドワーク

青葉山丘陵の古層を探る

青葉山丘陵の南西部を流れる沢川には、地元のかたが「洞門」と呼ぶ、自然に生れた石のアーチがあります。このアーチは、青葉山丘陵の中で最も古い時代に形成された地層からできています。青葉山のつべんからこのアーチを目指して歩くことで、青葉山丘陵形成の謎を探ります。

2019.06.23 Sun

10:30-15:00 集合：たまきさんサロン
事前申込制 参加費 500 円 (保険代・資料代含む)

レクチャー 10:30~11:30
「青葉山周辺の地質」高嶋礼詩氏 (東北大学総合学術博物館准教授)

フィールドワーク 11:30~15:00
たまきさんサロン▶青葉台(昼食)▶鈎取山国有林▶沢川洞門▶ひより台大橋にて解散

- 注意事項等**
- 参加希望の方は、6月17日(月)までに問い合わせ先までお申し込みください。
 - どなたでも参加できます。歩きやすい服装・靴でご参加ください。
 - 昼食はご持参下さい。
 - 雨天の場合も開催致します。長靴等、雨具の用意をお願いいたします。(荒天の場合には内容を変更して実施いたします。)
 - レクリエーション保険に加入しますが、イベント中の事故は参加者の自己責任とします。

問い合わせ先
青葉山・八木山フットパスの会事務局 (担当：内山)
TEL: 070-5091-4896
E-mail: uchiyematakahiro@hotmail.com
青葉山・八木山フットパスの会ブログ
http://footpath990.blog.fc2.com/

主催：青葉山・八木山フットパスの会 協力：八木山市民センター、片平市民センター、東北大学総合学術博物館、東北大学キャンパスデザイン室
このフィールドワークは、令和元年度仙台市青葉区まちづくり活動助成事業の助成を受けて実施するものです。

東北大学ポケットガイド

テクルペ

東北大学へようこそ!

今日はどちらへ?何をしに?

食う観るところに買うところ。

テクテク、クルクル、探してね!

テクルペ持って、行ッテクルペ!



公開施設 / イベント / 散策 / 食事 etc. の情報GET!

このQRを読み込んでね! →

または **テクルペ** 検索



東北大学の先生たちが書いたコラムも読めるよ!

テクルペは東北大学の来訪者向けウェブサービスです。

TOHOKU UNIVERSITY
KAWAUCHI HALL
THE FOUR SEASONS
PROGRAM 2019-2020
東北大学 川内萩ホール
フォーシーズンズ・プログラム 2019-2020 ver.2

待望の凱旋公演!!

Akinori Nakagawa

中川晃教

コンサート 2019

*New Wind with the
Trio in Early Summer*

Program ※曲目に変更になる場合がございます。

ボヘミアン・ラブソフィ (QUEEN)
見上げてごらん夜の星を
I Will Get Your Kiss ほか

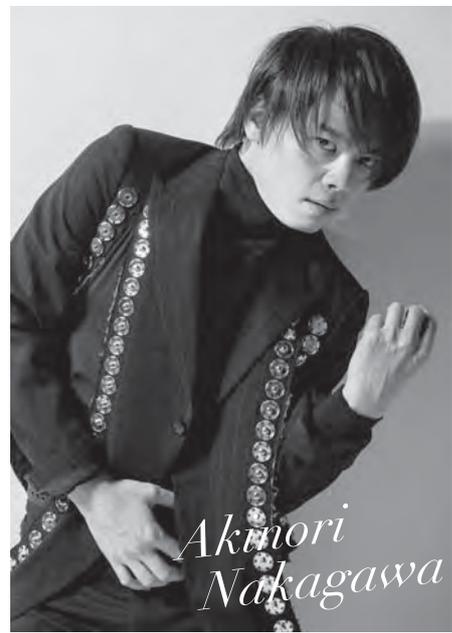
2019 **6.23** [日] 14:00開演
(13:30開場)
東北大学百周年記念会館
川内萩ホール

仙台市地下鉄東西線
「国際センター」駅から徒歩5分

入場料
S席 ¥5,500 / A席 ¥4,500 / 学生券 (大学生以上) ¥3,000 (税込)
※学生証は東北大学学生センターのみ
※学生証以外の方は当日現金でチケットをお支払いください。
(チケット1枚につき学生証を1枚提示してください)
チケット一般発売日：2019年4月12日(金)
※学生証の提示は不要です。

プレイガイド
◎東北大学学生センター 022-211-1189 (平日10:00~14:00)
◎藤崎 ◎仙台三越
◎ローソンチケット 0570-084-002 (Lコード:21910)
◎チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:142-940)
◎イープラス http://eplus.jp ◎TBCホームページ

お問合せ
河北新報社事業部 022-211-1332 (平日10:00~17:00)
TBC事業部 022-714-1022 (平日9:30~17:30)



中川晃教

1982年11月5日生まれ。宮城県仙台市出身。

2001年8月1日、自身が作詞作曲の「I Will Get Your Kiss」でデビュー。

同曲にて第34回日本有線大賞新人賞を受賞。2002年ミュージカル「モーツァルト」タイトルロールを演じ、第57回文化庁芸術祭演技部門新人賞、第10回読売演劇大賞優秀男優賞、杉村春子賞を受賞。以後、音楽活動と並行して数々のミュージカルに出演、また、舞台音楽作曲制作としても多くの作品に携わる。2016年にはミュージカル「ジャージーボーイズ」にて天使の歌声と称されるフランキー・ヴァリ役を演じ、第24回読売演劇大賞、最優秀男優賞を受賞した。2018年の再演では、東京公演を皮切りに秋田、岩手、愛知、大阪、福岡と公演を行い、47,000人を動員。

音楽活動としては、近年では、約10年ぶりとなるスタジオ録音アルバムを発売。また、オーケストラによるツアー公演を行うなど、バンドのみならずさまざまな編成での音楽活動も精力的に行っている。

注意事項 ①演奏中は入場できません。②ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。③他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

チケット
お得
サービス

本公演ご来場の
お客様
限定サービス

当日、対象店舗にて
チケット提示でお得!

【詳細はコチラから!】

【案内マップ】

※東北大学構内は全面禁煙です。

川内萩ホール
〒980-8583 宮城県仙台市青葉区川内4-40
TEL: 022-265-3291

【アクセス】

●仙台市地下鉄東西線「国際センター」駅から徒歩5分
●「川内」駅から徒歩7分

●仙台市地下鉄東西線「国際センター」駅から徒歩5分
●「川内」駅から徒歩7分

8 15

Tohoku University Science Café
東北大学 サイエンスカフェ

サイエンスがもっと楽しくなるティードライム
科学者が、科学に関心のある方々と飲み物を片手に気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

知の匠と語り合う。 贅沢な時間。

参加費無料
事前申し込み不要
※飲み物は各自準備してください。

サイエンスカフェ、リベラルアーツサロンは、東北大学が主催する「知の匠と語り合う」をもっと楽しく、もっと身近に。参加型のトークイベントです。

東北大学 総務企画部社会連携課社会連携推進係
022-217-5132

<p>4/19 第163期</p> <p>多様な共存の森 ～その仕組みと暮らし～</p> <p>清和 研二 教授 (医学研究科)</p>	<p>5/15 第164期</p> <p>生命の部品、タンパク質 ～その形と働きをコンピュータで理解する～</p> <p>西 羽美 准教授 (情報科学研究科)</p>	<p>5/31 第165期</p> <p>読者の論文を解説せよ ～なぜ「読者」は論文の権利者か～</p> <p>藤山 稔 教授 (国文学研究科)</p>
<p>6/28 第165期</p> <p>地球の中はどんな世界？ & 鉱物のファンギ</p> <p>栗林 貴弘 准教授 (理学研究科)</p>	<p>7/12 第166期</p> <p>毒なものには必要はあろうか？ ～その必要をコンピュータで理解する～</p> <p>斎藤 芳郎 教授 (医学研究科)</p>	<p>8/9 第167期</p> <p>人間の本性は善か悪か</p> <p>斎藤 智寛 准教授 (文学研究科)</p>
<p>8/30 第167期</p> <p>超自然界で天然物がお宝に？ ～新しい食品素材と医薬品開発技術～</p> <p>渡邊 賢 教授 (工学研究科)</p>	<p>9/18 第168期</p> <p>がんを免疫で治す</p> <p>張替 秀郎 教授 (医学研究科)</p>	<p>9/20 第168期</p> <p>取扱い注意な生物多様性</p> <p>千葉 聡 教授 (東北アジア研究センター)</p>

東北大学 2019年度 前期プログラム 各回とも 18:00×19:45

Tohoku University Science Café
東北大学 サイエンスカフェ

サイエンスがもっと楽しくなるティードライム
科学者が、科学に関心のある方々と飲み物を片手に気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

誰でも自由に無料でご参加いただけます。
飲み物を片手に気軽に参加できるスタイルです。
中学生、大学生、社会人の皆様のご参加をお待ちしております。

<p>4/19 第163期</p> <p>多様な共存の森 ～その仕組みと暮らし～</p> <p>清和 研二 教授 (医学研究科)</p>	<p>5/15 第164期</p> <p>生命の部品、タンパク質 ～その形と働きをコンピュータで理解する～</p> <p>西 羽美 准教授 (情報科学研究科)</p>	<p>6/28 第165期</p> <p>地球の中はどんな世界？ & 鉱物のファンギ</p> <p>栗林 貴弘 准教授 (理学研究科)</p>
<p>7/12 第166期</p> <p>毒なものには必要はあろうか？ ～その必要をコンピュータで理解する～</p> <p>斎藤 芳郎 教授 (医学研究科)</p>	<p>8/30 第167期</p> <p>超自然界で天然物がお宝に？ ～新しい食品素材と医薬品開発技術～</p> <p>渡邊 賢 教授 (工学研究科)</p>	<p>9/18 第168期</p> <p>がんを免疫で治す</p> <p>張替 秀郎 教授 (医学研究科)</p>

文系らしく会話を楽しくサロン
文系の幅広い分野の中から、身近なテーマ、知識欲をかきたてるテーマを取り上げ、お茶を飲みながら会話に興じる場です。

5/31 第165期
読者の論文を解説せよ
～なぜ「読者」は論文の権利者か～

8/9 第167期
人間の本性は善か悪か

9/20 第168期
取扱い注意な生物多様性

東北大学のキャンパスマップイベント情報はコチラ！

7 たまきさんサロン サロン開催

生産者と消費者が一緒に育む、持続可能な食環境を目指して

美味しい食材が作られている背景を知っていますか？
「おいしいの向こう側」を知ることで、食べる人とつくる人が支え合える持続可能な食環境をつくるための取組みを、食べる人からつくる人になった上野まどかさんからお聞きします

日時：6月26日(水) 18:30～20:00
講師：むすびファーム 上野 まどか 氏
宮城県出身
仙台の大学を卒業後、東京の企業で活躍され、2016年から畜産農家に。現在は黒毛和種の生産と米作りをしている。

場所：せんだい環境学習館 たまきさんサロン
定員：42名
申込締切：6月19日(水) 応募多数の場合抽選

お申し込み方法
メールまたはハガキやFAXで、必要事項(講座名・住所・電話番号・参加希望者全員の氏名と年齢)をご記入の上、お申し込みください。
※抽選後、当選者におのみご連絡いたします。
※メールでお申し込みの方は、tamaki3salon@city.sendai.jp からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先
せんだい環境学習館 たまきさんサロン
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
東北大学青葉山新キャンパス内東北大学大学院環境科学研究科理学本館(J22)1階
平日：10:00-20:30 土日祝：10:00-17:00
休館日：月曜(月曜が休日の場合は、その翌日) 祝日の翌日、年末年始
TEL: 022-214-1233 FAX: 022-393-5038
ホームページ: https://www.tamaki3.jp/

9

The 3rd FRIS-TFC Collaboration Event
第22回 学際科学フロンティア研究所セミナー

これがブラックホールだ！
THE FIRST-EVER IMAGE OF A BLACK HOLE! ～第一線の研究者が語る真実～

ブラックホールとは何なのか？
光さえ吸い込んで見えなはずなのに、どうして観測できたのか？
ブラックホールは我々人類とどういった関係にあるのか？

今年4月10日、人類初めて目にしたブラックホールの画像が、世界6ヶ所同時に公開された大きな話題となった。その観測に成功したイベント「ホライズン・テレスコープ」の日本チーム代表 本間善樹 教授(国立天文台)、チームメンバーで地元東北大学 高井真二 准教授 (FRIS)。この2人の天文学者がブラックホール研究の真実と疑問をわかりやすくお話しします。

一緒に、宇宙の不思議に迫ってみましょう。

2019.6.29 (土) 13:30-15:00 開講 13:00
(参加無料・事前申込) 東北大学知の館3階講義室(片平キャンパス)

本間 善樹 (国立天文台 博士 観測所 所長)
「見えないものをついに見た！—ブラックホール初撮影までの道のり」
1971年、米国テキサス州生まれ。1999年、東北大学理学部天文学科修士課程修了。理学博士。国立天文台博士。星野浩経教授、現在在任東北大学天文学部 VLB 観測所所長。専門は、超高分解能電波観測による天文学研究。特に、銀河系の構造研究、巨大ブラックホール研究、イベント・ホライズン・テレスコーププロジェクトの日本副責任者である。

高井 真二 (東北大学理学部天文学科 准教授)
「ブラックホールとは何か？なぜそれは存在するのか？」
1970年、大分県生まれ。2003年、京都大学理学部天文学科修士課程修了。理学博士。国立天文台博士。本間善樹博士の指導の下で天文学研究。現在は、超高分解能電波観測による天文学研究。特に、銀河系の構造研究、巨大ブラックホール研究、イベント・ホライズン・テレスコーププロジェクトの日本副責任者である。

※事前参加申込が必要。定員100名(先着順)
下野まどか先生、または高井真二先生よりお申込みください。詳細は申し込み用紙をご覧ください。
https://www2.fris.tohoku.jp/~blackhole/form.php

お花を植える土を作ろう！ ～廃泥土のリサイクル～

たまきさんサロン サロン講座

浄水場でろ過した際に発生する不要な「泥土」を「園芸用の土」にリサイクルする方法を教わります。リサイクルした土はお花を植えてお持ち帰りいただきます。



日時：6月29日(土) 13時30分～15時00分
講師：東北大学大学院環境科学研究科 教授 高橋 弘氏

場所：せんだい環境学習館 たまきさんサロン
定員：小学4年生以上の子どもと保護者15組
申込締切：6月18日(火) (抽選)

お申し込み方法

メールまたはハガキ、FAXに必要事項(講座名・住所・電話番号・参加希望者全員の氏名と年齢)をご記入の上、お申し込みください。
※抽選後、当選者にのみご連絡いたします。
※メールでお申し込みの方は、tamaki3salon@city.sendai.jp からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

せんだい環境学習館
たまきさんサロン



サロン講座は毎月開催中です！詳しくはホームページをご覧ください。

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
東北大学青葉山新キャンパス内東北大学大学院環境科学研究科本館(J22)1階
平日：10:00-20:30 土日祝：10:00-17:00
休館日：月曜(月曜が休日の場合は、その翌日) 祝日の翌日、年末年始
ホームページ <https://www.tamaki3.jp/>
TEL: 022-214-1233 FAX: 022-393-5038
メール: tamaki3salon@city.sendai.jp



※このチラシは「種が」としてリサイクルできます

東北大学 校友アーカイブズ

東北大学史料館では、東北大学にまつわる様々な歴史資料を「東北大学校友アーカイブズ」として収集・公開しています。皆さんのお手許にある資料が、東北大学・東北大学の歴史を未来に伝える「校友アーカイブズ」となるかもしれません。元学生、卒業生、大学職員OB・OGをはじめ、皆様からの情報、ご協力をお待ちしております。

これまでに公開されている「校友アーカイブズ」は**こちら!**



東北大学デジタルアーカイブズ 個人・関連団体文書目録
<http://www2.archives.tohoku.ac.jp/tuda/person/tuda-person.html>

東北大学史料館 所蔵文書検索システム
<http://s-opac.net/Opac/search.html>



お問い合わせ：東北大学史料館

TEL: 022-217-5040 MAIL: desk-tua@grp.tohoku.ac.jp



北条時敬 (1868-1948)
東北大学理学部教授、東北大学理学部部長、東北大学理学部学部長、東北大学理学部名誉教授



田辺 元 (1874-1949)
東北大学理学部教授、東北大学理学部部長、東北大学理学部学部長、東北大学理学部名誉教授



高橋 忠正 (1874-1949)
東北大学理学部教授、東北大学理学部部長、東北大学理学部学部長、東北大学理学部名誉教授

西田幾多郎と東北大学 ゆかりの人々



西田幾多郎 (1873-1945)
東北大学理学部教授、東北大学理学部部長、東北大学理学部学部長、東北大学理学部名誉教授

展示会
申込不要

2019 7/1 (月) - 7/31 (木)

10:00 ~ 17:00
※土日は16:30まで、講演会は17:30まで



東北大学史料館
〒980-8578 仙台市青葉区大森2-1-1
TEL: 022-214-1233 FAX: 022-214-1234
URL: <http://www.tohoku.ac.jp/museum/>
E-mail: museum@tohoku.ac.jp

講演会
申込不要

2019 7/13 (土)

13:00 ~ 15:30 (開場 12:30)
※講演会後は史料館でネットワークを行います。
定員: 100名 参加費: 無料
申込: 要申込 (先着順) ※定員に達し次第締め切らせていただきます。
【講師】野家啓一 (東北大学名誉教授) [東北大学と科学哲学の伝統]
加藤 諭 (東北大学史料館准教授) [東北帝国大学草創期における法文学部]

お申し込み
お問い合わせ先

石川県西田幾多郎記念哲学館
〒928-1126 石川県かほく市内日角1 TEL: 076-283-6600 FAX: 076-283-6320
URL: <http://www.nishidatetsugakukan.org> E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp
Facebook はじめました。イベント関連情報は随時更新中です。

主催 / 石川県西田幾多郎記念哲学館 (かほく市) 共催 / 東北大学史料館 協力 / 東北大学附属図書館

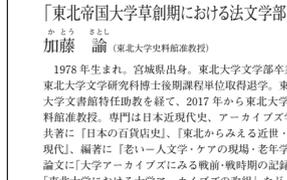


講演会
申込不要

7/13 (土)
13:00 ~ 15:30 (開場 12:30)

「東北大学と科学哲学の伝統」
野家 啓一 (東北大学名誉教授)
1949年生まれ。宮城県出身。東北大学理学部卒業、東京大学大学院理学系研究科博士課程中退、南山大学、プリンス頓田大学を経て、1981年から東北大学。文学部・文学研究科教授、理事・副学長、総長特命教授を経て2019年3月定年退職。現在、東北大学名誉教授。専門は哲学・科学基礎論。著書に『科学哲学への招待』、『歴史を哲学する』、『はさまの哲学』など、解説・編集に『西田哲学選集第2巻「科学哲学」論文集』、『高橋美実 全体性の現象学 (京都哲学叢書第17巻)』、論文に『歴史の中の科学 西田幾多郎の科学哲学』など。

「東北帝国大学草創期における法文学部」
加藤 諭 (東北大学史料館准教授)
1978年生まれ。宮城県出身。東北大学文学部卒業、東北大学文学部研究科博士後期課程単位取得退学、東京大学文庫館特任助教を経て、2017年から東北大学史料館准教授。専門は日本近現代史、アーカイブズ。共著に『日本の百貨店史』、『東北からみえる近世・近現代』、編者に『「老い」人文学・ケアの現場-老年学』、論文に『大学アーカイブズにみる戦前-戦時期の記録』、『東北大学における大学アーカイブズの改組』など。



キャンパスツアー (要申込)
7/13 (土) 10:00 ~ 11:30

東北大学発祥の地である片平キャンパス内には、帝大時代やそれ以前の旧制第二高等学校時代の校舎など、貴重な建物が現存しています。展示会会場の史料館をスタート地点にして、史料館の加藤諭先生に案内していただきながら、キャンパス内の登録有形文化財の建物を巡ります。

西田幾多郎と東北大学 ゆかりの人々

展示会
申込不要

7/1 (月) - 7/31 (木) 10:00 ~ 17:00

東北大学史料館・附属図書館所蔵の資料と、西田哲学 (石川県) 所蔵資料を一堂に会した特別展示会です。会場の史料館は、1924年(大正13年)に東北帝国大学附属図書館本館として建設された建物です。



西田幾多郎誕生の地、石川県かほく市へ
仙台 → (東北新幹線・1時間8分) → 大宮 → (夜越新幹線・2時間4分) → 金沢

西田幾多郎記念哲学館
〒928-1126 石川県かほく市内日角1
TEL: 076-283-6600 FAX: 076-283-6320
URL: <http://www.nishidatetsugakukan.org>

<FAXでお申し込みの場合は、下記項目をご記入の上 076-283-6320 まで送信ください。>

参加希望	7/13(土) <input type="checkbox"/> キャンパスツアー 10:00 ~ <input type="checkbox"/> 講演会 13:00 ~
フリガナ お名前	
ご住所	
TEL(携帯可)	

※個人情報は、当イベントに関する目的以外には使用しません。

2019年度みやぎ県民大学「大学開放講座」東北大学多元物質科学研究所

申込〆切 6/26(水)
定員 先着50名

グリーンテクノロジーのための材料とデバイス

会場 | 東北大学多元物質科学研究所
日時 | 7月3日～24日 毎週水曜日 午後3時～5時

大きな問題となっている地球環境問題解決のキーのひとつ、グリーンテクノロジーの研究開発は、工学的、重要なミッションです。本講義では、電池や燃料電池、磁気、光デバイスを題材として、グリーンテクノロジーのための先端材料とそれらを利用したデバイスについて学びます。

7月3日(水)	雨澤 浩史 教授 開校式・講義 「燃料電池ってどんなもの？」
7月10日(水)	北上 修 教授 講義 「磁気と環境～磁気を通じ環境負荷を減らす」
7月17日(水)	本間 格 教授 講義 「リチウムイオン電池ってどんなもの？」
7月24日(水)	秩父重英 教授 講義・閉講式 「光を放つ半導体が拓く未来」

※ 18歳以上の宮城県民の方が対象です。
※ はがきまたはFAXにてお申込みください。

申し込み先
東北大学多元物質科学研究所 総務係
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
FAX: 022-217-5211



はがき・FAXでお申込みください。

〆切: 6月26日(水) 必着

東北大学多元物質科学研究所 総務係

FAX: 022-217-5211

申込書 (FAX 用)

ご住所	〒 (-)			
(ふりがな) お名前	職業			
連絡先	—	性別	年齢	才

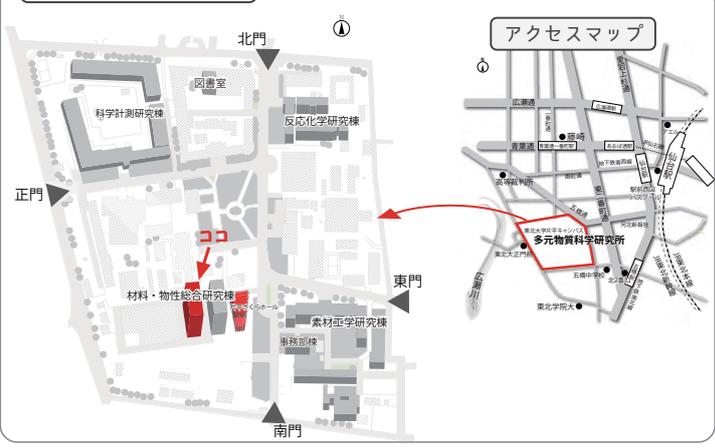
※ 個人情報はこの講座以外に使用することはありません。
お問い合わせ先: TEL: 022-217-5204

会場案内 ※ 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

東北大学多元物質科学研究所 (仙台市青葉区片平 2-1-1)

- ▶ 地下鉄東西線「青葉通一番町駅」下車、南1口より徒歩約10分
- ▶ 地下鉄南北線「五橋駅」下車、北2・北4口より徒歩約10分
- ▶ 仙台駅西口より、徒歩約15分

東北大学片平キャンパス



東北大学大学院経済学研究所 非常勤組織論 (西出) 研究室 主催

【国際機関編】

グローバル社会イノベーター・セミナー

国際機関における組織管理と協働

講師: 小林 主茂 氏

ジュネーブ高等国際開発研究院 紛争・開発・平和構築センター 博士研究員

2019年7月11日(木) 8:50-10:20

東北大学川内南(文系)キャンパス

文科系総合義棟 経済学部第一講義室(地図 C19 建物 2階)
<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html>

講演内容

- 国際機関はどのような組織構造上の長所・短所を有しているか?
- 国際機関や多国間プロジェクトの管理に必要とされるスキルとは何か?
- 国際機関はグローバル社会の他の主体とどのように協働しているのか?

講師紹介 小林 主茂 (こばやし かずしげ) 氏



山形市生まれ。スイス・ジュネーブ在住。東北大学経済学部入学後、カリフォルニア大学へ派遣留学。カリフォルニア大学デヴィス校代表として同大学フシントン・DOセンターへ派遣され、国際 NGO の International Rescue Committee 事務本部にて、主にアメリカ連邦議会向けの政策提言に携わる。その後、コロンビア大学人間問題研究所研究インターン、三菱総合研究所戦略コンサルティング本部研究助手などを経て、2012年3月東北大学経済学部卒業(西出ゼミ)。2014年、ジュネーブ高等国際開発研究院国際関係修士課程修了(国際ロータリー奨学生)。2014年から2017年まで、同研究院の紛争・開発・平和構築センター(CODP)における主任研究員補佐として、主に国際連合機関・国際 NGO・英米国際開発省や各国大使館との協働プロジェクトのマネージメントに携わる。2017年から2018年まで、モスクワのロシア外交評議会における客員研究フェローとして、日露外交のロードマップ策定などにも携わり、2018年にジュネーブ高等国際開発研究院より博士号(国際政治学)を取得。現在は CODP において、博士研究員として日本・中国・ロシアの平和構築政策の比較分析プロジェクトを主導する。専門研究分野は国際関係論、安全保障論、平和構築論、国際市民社会論、ロシア外交政策。

参加費無料・事前申し込み不要。

お問い合わせ: 西出研究室 yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

※本セミナーは、JSPS 科研費 17K03918 の助成を受けて実施します。

東北大学大学院経済学研究所 非常勤組織論 (西出) 研究室 主催

【キャリア編】

グローバル社会イノベーター・セミナー

国際社会におけるキャリア構築

講師: 小林 主茂 氏

ジュネーブ高等国際開発研究院 紛争・開発・平和構築センター 博士研究員

2019年7月11日(木) 10:30-12:00

東北大学川内南(文系)キャンパス

文科系総合義棟 経済学部第一講義室(地図 C19 建物 2階)
<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html>

講演内容

- 修士号・博士号の取得はどのように国際キャリアの構築に役立つか?
- 国際社会で即戦力として活躍するためにはどのようなスキルが必要か?
- 国際的なキャリアの例としては具体的にどのようなものがあるか?

講師紹介 小林 主茂 (こばやし かずしげ) 氏



山形市生まれ。スイス・ジュネーブ在住。東北大学経済学部入学後、カリフォルニア大学へ派遣留学。カリフォルニア大学デヴィス校代表として同大学フシントン・DOセンターへ派遣され、国際 NGO の International Rescue Committee 事務本部にて、主にアメリカ連邦議会向けの政策提言に携わる。その後、コロンビア大学人間問題研究所研究インターン、三菱総合研究所戦略コンサルティング本部研究助手などを経て、2012年3月東北大学経済学部卒業(西出ゼミ)。2014年、ジュネーブ高等国際開発研究院国際関係修士課程修了(国際ロータリー奨学生)。2014年から2017年まで、同研究院の紛争・開発・平和構築センター(CODP)における主任研究員補佐として、主に国際連合機関・国際 NGO・英米国際開発省や各国大使館との協働プロジェクトのマネージメントに携わる。2017年から2018年まで、モスクワのロシア外交評議会における客員研究フェローとして、日露外交のロードマップ策定などにも携わり、2018年にジュネーブ高等国際開発研究院より博士号(国際政治学)を取得。現在は CODP において、博士研究員として日本・中国・ロシアの平和構築政策の比較分析プロジェクトを主導する。専門研究分野は国際関係論、安全保障論、平和構築論、国際市民社会論、ロシア外交政策。

参加費無料・事前申し込み不要。

お問い合わせ: 西出研究室 yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp

※本セミナーは、JSPS 科研費 17K03918 の助成を受けて実施します。



第11回 東北大学病院 肝臓病教室のお知らせ

このたび、肝臓の病気をお持ちの患者さんとそのご家族などを対象に肝臓病教室を開催いたします。ある方はどなたでもお気軽にご参加下さい。



日時：2019年7月16日(火)

15時00分～16時00分

場所：東北大学病院外来1階 キャンサーボード室

テーマ「放置すると危ない！ 密かに進行する脂肪肝」

講師：東北大学病院 消化器内科

嘉数 英二 先生



ご参加いただいた方からのご質問にお答えするコーナーや、お話し合いの機会も設けたいと思います。

問い合わせ先：022-717-7031 (肝疾患相談室)

IRIDeS 金曜フォーラム

2019年度の開催予定 [時間] 16:30～

第62回 5月31日(金) 2階演習室B
新任教員が携わる災害科学研究

研究の
連携・融合
研究活動の
情報共有

第63回 7月20日(土) 9:00～17:00 (開催時間が通常と異なります。)
「平成30年度共同研究 成果報告会 および プロジェクトエリア・ユニット報告会」

第64回 9月27日(金) 1階セミナー室
シリーズ：災害メモリアル
921大地震(台湾)から20年
新潟中越地震から15年

参加費、申し込みなしで
どなたでも
ご参加いただけます。

第65回 12月13日(金) 1階セミナー室
シリーズ：近年の災害を振り返る

第66回 2月21日(金) 1階セミナー室
「復旧・復興制度の勉強会」 成果報告会



詳細はウェブサイトをご覧ください。
<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>



受講生募集

東北大学植物園
Tohoku University
Botanical Gardens
Lecture Open to the Public

市民公開講座

自然史講座 ※出席可能なのみお申し込みください

定員 80名 (先着順)

Course Theme
世界に植物を求めて：
異国の植物たちとの遭遇

Venue
東北大学植物園
本館講義室

CLOSING DAY
申込締切日：
6月24日月曜日

第1回	第2回	第3回
日露中韓の協力で推進する北海道-東北アジアの植物多様性の保全 7/20 sat / 13:30 - 15:00 北海道大学 中村 剛	東南アジアの多様性評価を通して出会った植物たち 8/17 sat / 13:30 - 15:00 国立環境研究所 遠山 弘法	ネパールの多様な植物とそれらの日本の植物との関係 9/14 sat / 13:30 - 15:00 東北大学 米倉 浩司

第4回	第5回
パラオに行って日本に思いをはせる ～パラオ諸島での植物調査～ 10/19 sat / 13:30 - 15:00 山形大学 榎山 潤	アンデス4300m高地でプサイモンディを解剖観察 ～100年生きて一度だけ咲いて死ぬ植物の謎～ 11/16 sat / 13:30 - 15:00 岐阜大学 川窪 伸光

今回より「自然史講座」は、満席により受講不可の場合のみ、ご連絡させていただきます。こちらから連絡がない場合は、当日時間までに会場へお越しください。

植物画講座 ※可能な限り2日続けて参加できる方

定員 20名 (先着順)

Course Theme
科学的に観察しながら描く植物

Venue
東北大学植物園 本館講義室

芸術としての植物画ではなく、植物を科学的に観察しながら描くということを通して植物の見方を学びます。

Things to Bring (持ち物) 鉛筆・消しゴム・定規・極細万年筆

第1回	第2回
初夏の植物画講座 6/22 sat - 6/23 sun / 10:00-16:00 申込締切日:6月10日(月) 22日は鉛筆画/23日は鉛筆画の墨入れ	秋の植物画講座 9/21 sat - 9/22 sun / 10:00-16:00 申込締切日:9月8日(金) 21日は鉛筆画/22日は鉛筆画の墨入れ

両講座の受講料は無料ですが、入場料¥230がかかります。 ※1年有効の年間パスポート(1,000円)もございます。

【お申込み・お問合せ】 東北大学植物園 公開講座係 〒980-0862 仙台市青葉区川内12-2
TEL 022-795-6760 FAX 022-795-6766 MAIL tohokubg.office.event@grp.tohoku.ac.jp

<http://web.tohoku.ac.jp/garden/>



仙台市地下鉄東西線	観光循環バス「ふるる仙台」	自家用車
国際センター前下車の場合 西1出入口より東北大学植物園本館・展示ホールまで徒歩約12分。 川内駅下車の場合 南2出入口より東北大学植物園本館・展示ホールまで徒歩約12分。	植物園・国際センター前下車の場合 【仙台駅前】16番乗り場から乗車し、「博物館・国際センター前」で下車後、東北大学植物園本館・展示ホールまで徒歩約12分。 (交通状況により乗車時間が変動するため、お時間にご注意ください)	仙台市中心部方面より青葉通を西に進行して広瀬川を渡り、そのまま直進、突き当たりのロータリー交差点を左折。 (無料駐車場28台分のスペースがございます)

お申込み方法
往復葉書/メール/FAXに下記の必要事項をご記入の上、受講希望の講座名と希望する受講回を明記して下記までお送りください。必ず出席可能な回のみお申し込み下さい。
お名前・ご住所 電話番号 FAX番号 メールアドレス 受講希望の講座名と受講回
受講料 入場料
無料 230円

お申込み締切日 ※当日消印有効
自然史講座…6月24日月曜日 | 第1回 初夏の植物画講座…6月10日月曜日 | 第2回 秋の植物画講座…9月6日金曜日

各回のお申込みは先着順です。今回より「自然史講座」は、満席により受講不可の場合のみ、ご連絡させていただきます。こちらから連絡がない場合は、当日時間までに会場へお越しください。 ※1年有効の年間パスポート(1,000円)もございます。

東北大学植物園 講座 申込書 (FAX用) FAX番号 022-795-6766

FAXにて参加申込される方は下記に必要な事項をご記入の上、参加をご希望される講座名の箇にあり「参加」○をつけてください。複数ご参加いただく場合は、参加希望の講座名全てに○をつけて、用紙に記載される受講者FAX番号へお送りください。

お名前	フリガナ	ご住所	〒
電話番号		FAX番号	
メールアドレス	@		
自然史講座 (各回定員80名)	申込締切:6月24日(月)当日消印有効	植物画講座 (各回定員20名)	申し込みは先着順となります
7月20日(土) 第1回 日露中韓の協力で推進する北海道-東北アジアの植物多様性の保全	参加	第1回 初夏の植物画講座 申込締切:6月10日(月)当日消印有効	参加
8月17日(土) 第2回 東南アジアの多様性評価を通して出会った植物たち	参加	6月22日(土) 鉛筆画 鉛筆画の墨入れ	参加
9月14日(土) 第3回 ネパールの多様な植物とそれらの日本の植物との関係	参加	6月23日(日) 定規・極細万年筆	参加
10月19日(土) 第4回 パラオに行って日本に思いをはせる～パラオ諸島での植物調査～	参加	第2回 秋の植物画講座 申込締切:9月6日(金)当日消印有効	参加
11月16日(土) 第5回 アンデス4300m高地でプサイモンディを解剖観察～100年生きて一度だけ咲いて死ぬ植物の謎～	参加	9月21日(土) 鉛筆画 鉛筆画の墨入れ	参加
		9月22日(日) 定規・極細万年筆	参加

東北大学植物園 公開講座係 TEL 022-795-6760 MAIL tohokubg.office.event@grp.tohoku.ac.jp

<http://web.tohoku.ac.jp/garden/>

加速キッチン ～サイクロ流地球にない原子～ (7/30-7/31開催)

2019年5月15日 13:00 | イベント, 学内行事・講習会・オープンキャンパス

加速キッチンでは1秒で地球を3周するくらい高速に粒子を加速できるサイクロトロン加速器を使って高速に加速した粒子を金にぶつけて核融合反応を起こすことで、地球上に存在しない元素の生成を目指します。

この反応でいろんな原子ができますが、寿命が短くすぐに壊れてしまったり、地球上に存在しない珍しいものだったり、普段の生活では見ることのできない多様な原子の世界を覗き見ることができます。

粒子ビームの制御、検出器を用いた放射性原子の測定、データ解析まで普段サイクロトロン・ラジオアイソトープセンターで行っている研究活動そのものを研究者と一っしょに取り組み、議論しましょう。



イベント概要

開催日時：2019年7月30日、7月31日/9:00～18:3

会場：東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター

定員：約8名

申込み方法：下記、ウェブサイトの申込みフォームよりお申し込み下さい

詳細・申し込み等(サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター ウェブサイト)

申込み締切：2019年6月21日

問い合わせ先

サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター

助教 田中香津生、事務補佐員 長倉友理江

TEL：022-795-7808

E-mail：accel-kitchen@cyric.tohoku.ac.jp (*を@に置き換えてください。)

東北大学金属材料研究所
第89回夏期講習会



初代所長永光太郎博士。東北大学金属材料研究所教授研究室にて(大正2年頃) / 東北大学史料館蔵

実施テーマ

材料科学が創出する
次世代技術革新

材料研究の基礎から
最近の研究動向まで

8/1 木 [講義] 2 金 [実習]

会場：東北大学金属材料研究所(金研)・材料科学高等研究所(AIMR)
仙台市青葉区片平 2-1-1

対象 研究者・技術者の方々を始めとする幅広い方々

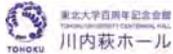
夏期講習会では、材料研究に関する最近の研究動向を、講義で分かりやすく紹介するだけでなく、身近に体験できる実習も行います。また、企業の研究者・技術者と大学の学生・研究者の貴重な意見交換・交流の場としても活用いただいています。

受講料：【一般】12,000円【学生】4,000円

お問い合わせ先：東北大学金属材料研究所夏期講習会事務局(総務課総務係)

TEL：022-215-2181 FAX：022-215-2184 E-mail：imr-som@imr.tohoku.ac.jp

実施詳細・申込方法は夏期講習会専用HPをごらんください。



東北大学百年記念会館
TOHOKU UNIVERSITY CENTENNIAL HALL
川内萩ホール

English Sitemap

川内萩ホールについて 施設のご案内 イベント情報 アクセス

Home > 施設のご案内 > 展示ギャラリー

ホーム | 会議室 | 収容室 | 展示ギャラリー | ファカルティクラブ | 施設概要一覧 | 施設利用のご案内 | 空き状況

展示ギャラリー

川内キャンパスの自然と歴史を、構内の発掘調査成果や本学に残されている様々な資料を通じて紹介しています。

かわうち今昔物語 — 史料館・埋蔵文化調査室・植物園による共同展示

(1)川内の自然：川内と青葉山の自然地形や植生について
(2)古代・中世の川内：古代・中世における川内の遺跡や遺物
(3)江戸時代の川内-仙台城二の丸と武家屋敷：発掘成果と出土遺物から江戸時代の仙台城二の丸と武家屋敷の様子
(4)近代の川内：第二陣団が置かれ「軍部」仙台の中核となった近代の川内の様子
(5)川内キャンパスの誕生：戦後昭和33年に川内キャンパスが誕生した経緯とその後の発展
(6)川内萩ホール：創立50周年から100周年へ

【展示の一部紹介】

教養部表札(1864年-1893年) 子狩り(18世紀油漬) 地蔵(陶器)陶器(江戸時代初期)

【展示に関する問合せ先】
東北大学埋蔵文化財調査室 Tel:022(217)4995 / Fax:022(217)5103
E-mail: maibun@grs.tohoku.ac.jp (メール送信の際は@を@に置き換えてください。) / 埋蔵文化財調査室ウェブサイト
※イベント開催中は展示を見ることが出来ない場合がございます。詳しくは川内萩ホール(022-795-3391)へお問い合わせください。

NEWS ON AIR

東北大学アンテナ
東北大学の先生の話がここでも!

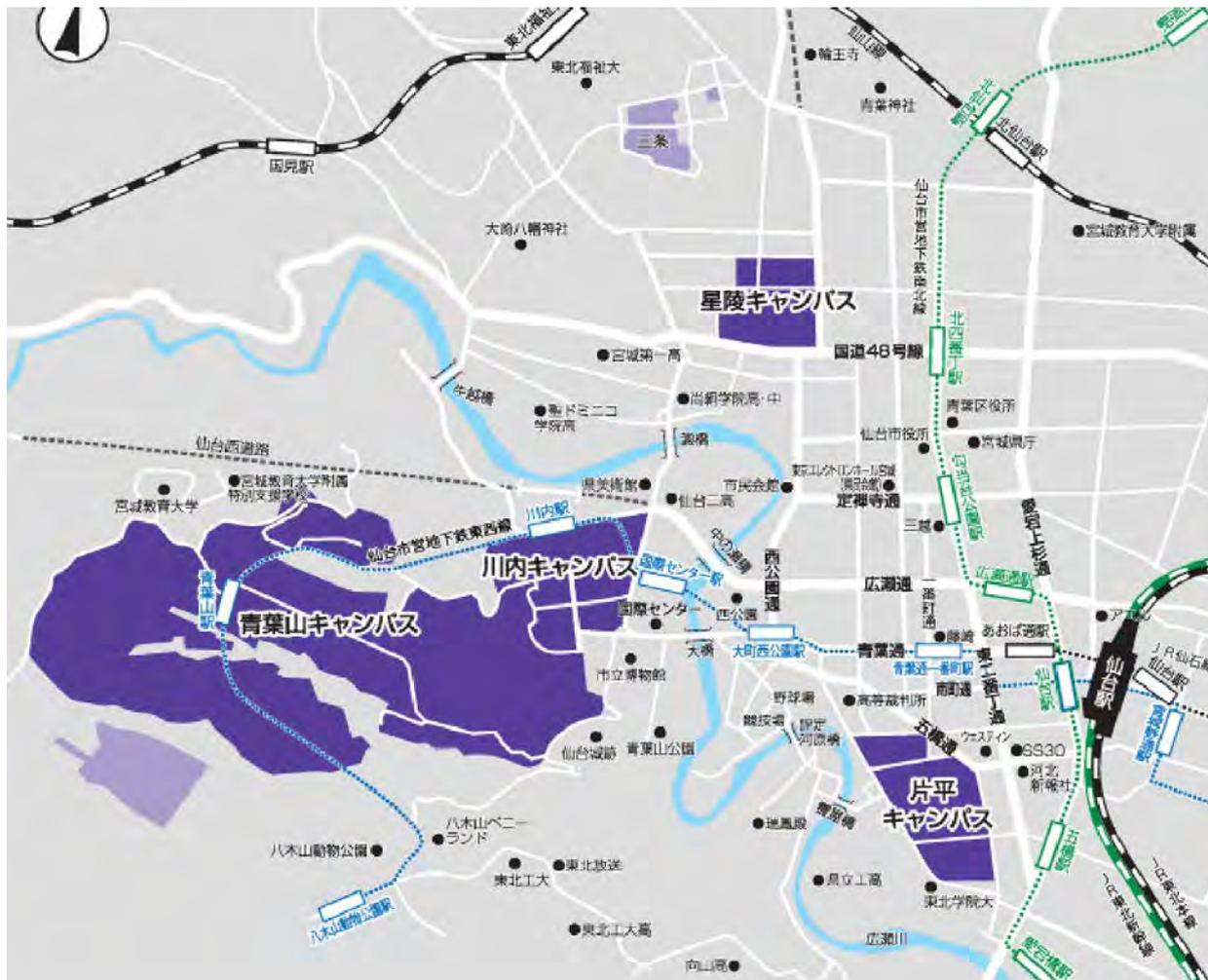
曜日	番組内容
日	毎日新聞・日曜 脳を鍛えたい/脳トレ川柳 川島隆太教授(加齢医学研究所)
日	Datefmエフエム仙台 SUNDAY MORNING WAVE (8:25-8:55) 『地震に自信を』『東北大学防災UPDATES!』 今村文彦教授(災害科学国際研究所)
第2・4水	読売新聞(地方) 東北大医学部教授リレーコラム 星陵の学びやから 医学系研究科教授など
木	河北新報(夕刊) 木曜 川島&滝のスマート・エイジング 川島隆太教授・滝靖之教授(加齢医学研究所)
第1・3金	河北新報(くらし面) 気になる症状すっきり診断 東北大病院専門ドクターに聞く
土	Datefmエフエム仙台 野村不動産×東北大学 人生100年ラボ(9:00-9:30) 東北大学教授など
日月水金	J:COM(ケーブルテレビ) 日 18:00- 月 19:00- 水 22:00- 金 19:00- サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン
随時	読売新聞ONLINE 東北大病院100年 http://www.yomiuri.co.jp/local/miyagi/feature/CO017751/
随時	河北新報 リレーエッセー 医進伝心(アーカイブ) http://www.megabank.tohoku.ac.jp/tommo/community/ishin

東北大学一般公開施設一覽

キャンパス	施設名	開館時間	休館日	問合せ・その他
片平	魯迅の階段教室 (旧仙台医学専門学校六号教室)	毎週火・木曜日の 13:00-16:00	月・水・金・土・ 日・祝日、6/22、 夏季休業日、 年末年始	総務企画部広報室 022-217-6090 ※1週間前までに要予約。 学術目的でのみ公開
片平	東北大学史料館	10:00-17:00 ※12:00-13:00は 閲覧室休み	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	東北大学史料館 022-217-5040 無料
片平	本多記念室 ・資料展示室	9:00-16:30	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	金属材料研究所 情報企画室広報班 022-215-2144 無料 ※案内希望の場合10日前までに連絡
片平	エクステンション 教育研究棟 1F広報展示スペース	8:30-17:15	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	総務企画部広報室 022-217-4816 無料
川内	東北大学植物園	9:00-17:00 (春分の日-11/30)	月曜定休 (月曜祝日の場合 祝日明け)	東北大学植物園 022-795-6760 大人：230円 小中学生：110円 ※萩友会プレミアム会員は入園無料 ※団体料金、年間パスポート等あり。
川内	西澤記念資料室	9:00-16:00	土・日・祝日	教育・学生支援部 入試課 022-795-4804 無料
川内	東北大学百周年記念会館 (川内萩ホール)展示ギャラリー	9:30-17:00	火、年末年始	川内萩ホール 022-795-3391 無料
青葉山	自動車の過去・未来館	8:00-20:00	年中無休	機械系広報推進室 022-795-4043 無料
青葉山	東北大学理学部 自然史標本館 (総合学術博物館)	10:00-16:00	月曜定休 (月曜祝日の場合 祝日明け)	東北大学総合学術博物館 022-795-6767 (個人)大人：150円 小中学生：80円 ※萩友会プレミアム会員は入館無料 ※団体料金(20名以上)あり
青葉山	東北大学大学院薬学研究科 ・薬学部 附属薬用植物園	9:00-17:00	土・日・祝日	附属薬用植物園 022-795-6799 無料 ※園内の案内や解説は事前連絡
青葉山	分散コンピュータ博物館 (サイバーサイエンス センター展示室)	9:00-17:00	土・日・祝日	サイバーサイエンスセンター 022-795-3406 無料 ※説明、10名以上の見学時 は要事前連絡
青葉山	せんだい環境学習館 たまきさんサロン (環境科学研究科1階)	平日 10:00-20:30 土日祝 10:00-17:00	月曜(月曜が休日 の場合その翌日)、 祝日の翌日、年末 年始	せんだい環境学習館 たまきさんサロン 022-214-1233 無料
その他	阿部次郎記念館	10:00-16:00	日、月、水、金 祝日、月末日、 12/28-1/4	阿部次郎記念館 青葉区米ヶ袋3丁目4-29 022-267-3284 無料

キャンパスマップ

各キャンパスまでは、下記の地図を参照の上ご来場ください。



■ 片平キャンパス

(地下鉄)

五橋駅 (仙台市地下鉄南北線)

北2口から徒歩約10分

青葉通一番町駅 (仙台市地下鉄東西線)

南1口から徒歩約10分

(バス)

仙台市営バス仙台駅前11番乗り場から「(東北大学病院前-八木山動物公園駅)八木山動物公園駅行」か「(東北大学病院前-緑ヶ丘三丁目)緑ヶ丘三丁目行」か「(東北大学病院前-西高校入口)西高校入口行」で約5分
東北大学正門前下車



【片平】

■ 川内キャンパス

(地下鉄) 川内駅 (仙台市地下鉄東西線)

キャンパス直結

国際センター駅 (仙台市地下鉄東西線)

西1口より徒歩約5分



【川内】

■ 青葉山キャンパス

(地下鉄) 青葉山駅 (仙台市地下鉄東西線)

キャンパス直結



【青葉山】

■ 星陵キャンパス

(地下鉄)

北四番丁駅 (仙台市地下鉄南北線)

北2口より徒歩約15分

(バス)

仙台市営バス仙台駅前9番乗り場「北山・子平町循環」

10番、15-1,15-2番乗り場 東北大学病院経由 東北大学病院前 下車

13番、14番のりば

東北大学病院経由か北山トンネル・中山経由か山手町・中山経由 東北大学病院

前下車か歯学部・東北会病院前下車

60番乗り場 交通局東北大学病院前行 交通局東北大学病院前下車 いずれも所要時間20分



【星陵】

「まなぶひと」のおもな配架場所

【片平キャンパス】北門会館(エントランス・萩友会ラウンジ)、北門守衛室、エクステンション教育研究棟、本部棟エントランス、史料館 【川内キャンパス】川内萩ホール、附属図書館本館、川内厚生会館、植物園本館 【青葉山キャンパス】総合学術博物館、工学部購買部 【星陵キャンパス】東北大学病院 【その他】国際センター駅、さんだいメディアテークフリーペーパーコーナー、学都仙台コンソーシアム(仙台市市民活動サポートセンター)、市民センター (一部)



東北大学まなび情報誌 まなぶひと 2019.7月号(Vol.57) 2019年6月15日発行 (毎月15/30日発行)

編集・発行：東北大学総務企画部社会連携課社会連携推進係

連絡先：〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1

Tel：022-217-5132 E-mail：social@grp.tohoku.ac.jp 【イベント情報・広告を載せませんか？詳しくは左記までお問い合わせください。】